

システム開発品質を向上させる レビューとテスト技術

クイズ

【クイズ1】

以下の条件で同値分析を行い有効同値グループ、無効同値グループを考えてください。

- (1)卸売業のA社は取引可能な金額の条件を定めている。
- (2)1回の取引で200万円以上の取引はできない。
- (3)卸売価格の最低金額は1000円以上とする。
- (4)卸売価格は1円単位で算出される。

【クイズ2】

以下の条件で同値分析を行い有効同値グループ、無効同値グループを考えてください。更に境界値分析を行いテストすべきデータの組み合わせを考えてください。ここでは、取引可能を確認するテストを考えます。

- ・卸売業のA社は取引可能とする顧客条件を定めている。
 - (1)入金遅延が3回未満である。
 - (2)自己資本率が20%以上である。

【クイズ3】

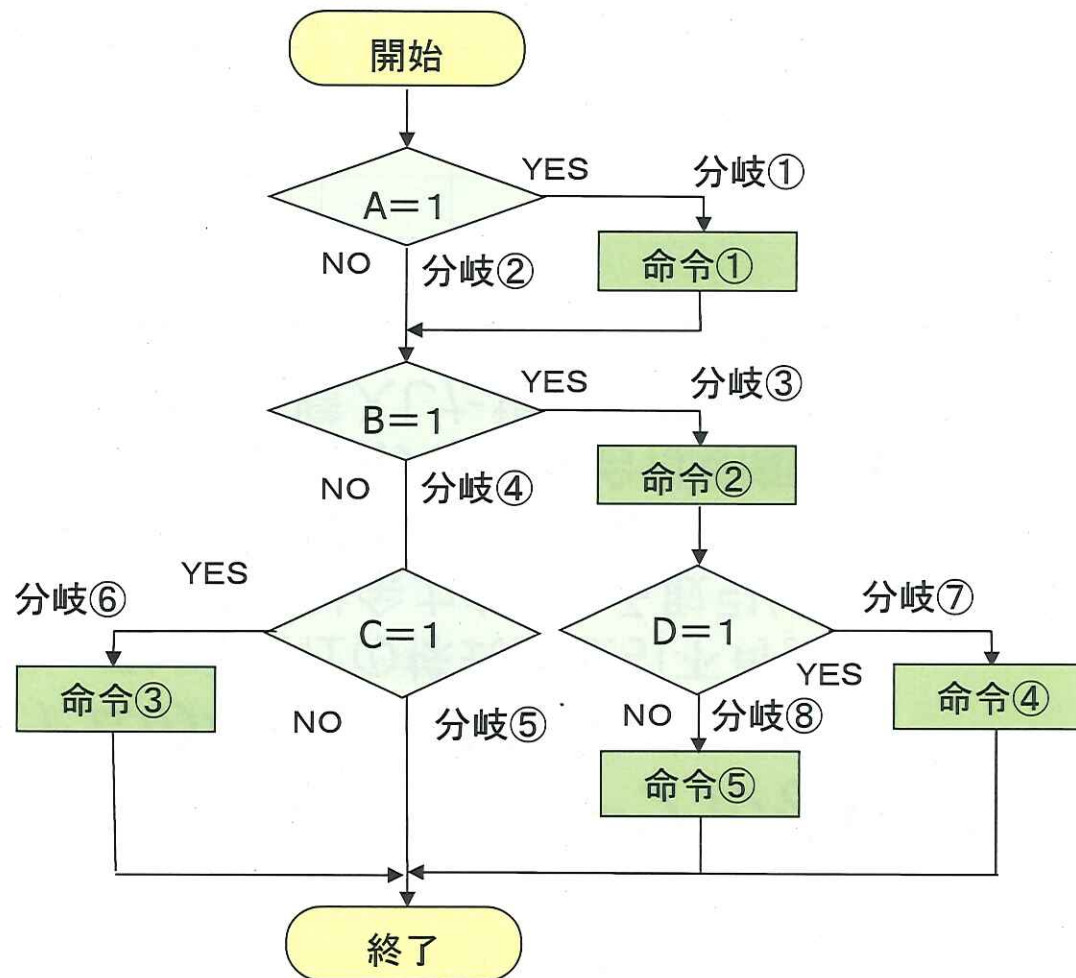
以下の条件でディシジョンテーブルを作成してください。

・株売買システムの株購入に関するルール

- (1)販売停止になっている会社の株式は取引不可。
- (2)顧客口座に入っている買付余力を超える取引は不可。
- (3)顧客口座が凍結(遺産相続中など)の場合取引不可。
- (4)まだ保有していない株式を購入した場合は明細を追加。
- (5)既に保有している株式を購入した場合は持株数を変更。

【クイズ4】

以下のフローチャートに対して、C0、C1、C2カバレッジでテストデータの組み合わせを考えてください。



【クイズ5】

開発規模と実績値を見て、品質指標値の許容範囲内にあるかを考えてください。許容範囲は±15%とします。

- (1)外部設計レビューの品質指標値 指摘件数7件/機能
実績値:機能数32、指摘件数300件の場合。
- (2)テスト項目設定密度の品質指標値 45件/1000step
実績値:機能A 開発規模2400step、テスト項目数116件
実績値:機能B 開発規模2800step、テスト項目数102件
- (3)バグ検出数の品質指標値 12件/1000step
実績値:機能A 開発規模2400step、バグ検出数30件
実績値:機能B 開発規模2800step、バグ検出数24件

【クイズ6】

クイズ5の(2)と(3)の結果を用いて相関図を作成してください。横軸にテスト項目数、縦軸にバグ検出数として、機能Aと機能Bの点をプロットしてください。

